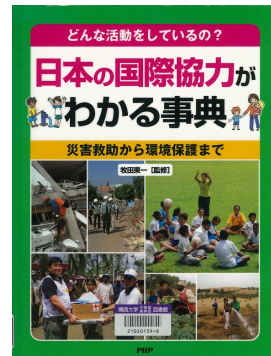


# はじめてみよう国際協力



『日本の国際協力がわかる事典  
災害救助から環境保護まで』  
牧田東一(監修) PHP研究所 329/マ



『日本の国際協力  
2017年版 開発協力白書』  
外務省 日経印刷 333/ガ/2017



『100円からできる国際協力』  
①平和を守る  
②命と暮らしを守る  
③大地を守る  
④子どもたちを守る  
⑤差別から守る  
⑥災害から守る  
汐文社 329/ヒ/1~6



『国際協力ガイド2016』  
国際開発ジャーナル社  
333/コ/2016

# 最新情報を見てみよう



『JICA Magazin』(ジャイカ マガジン)  
偶数月1日発行 独立行政法人国際協力機構



※JICA (Japan International Cooperation Agency) 国際協力機構



・国際理解図書通信・

# 国際開発・国際協力とは？

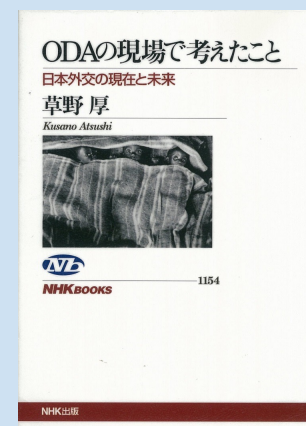
February 2023 第8号 国際理解教育部・ライブラリー

『普通』ってなんでしょう。「ふつうの〇〇」「〇〇がフツー」という言葉を耳にすることがあります。少し考えてみてください。特にこの数年はこれまでの常識や当たり前が通じない状況になり、常に変化する環境にどのように対応し、どのように振舞うのかが問われています。制限が緩和されつつある今、以前とは異なる形での海外との交流も再開されてきています。海外に目を向ける余裕も、少しずつですが出てきたように感じます。

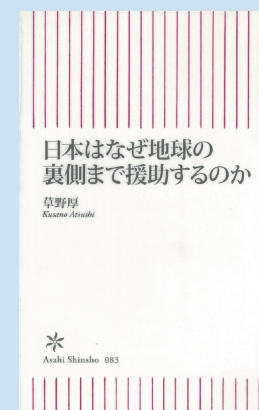
『普通』ってなんでしょう。それは本当に普通ですか？少し視点を変えてみただけで、日本で『普通』であることが『普通でない』国もたくさんあります。言語や環境の異なる国々の中には、日常生活を送るときにも不便を感じる人もいます。自分には何ができるのかをまず考えてみる。そして調べてみるのが、国際協力の第一歩ではないかと思えます。

J2では、日本の開発協力と産業支援をテーマに、ODA出前講座が2月に行われます。少し難しいテーマですが、読みやすく理解しやすい本を集めてみました。今後、皆さんが世界中の人々と手を取りあい、互いに補いあって共に生きていくために、まず国際開発・国際協力とは何かについて知っていただけたらと思います。

ODA (official development assistance)  
政府開発援助  
政府資金で行われる、発展途上国に対する無償援助(贈与)・技術協力・借款および国際開発機関への出資をいう。  
—『広辞苑』より



『ODAの現場で考えたこと  
日本外交の現在と未来』  
草野厚(著) NHK出版 333/ク



『日本はなぜ地球の裏側まで援助するのか』  
草野厚(著) 朝日新書 S333/ク



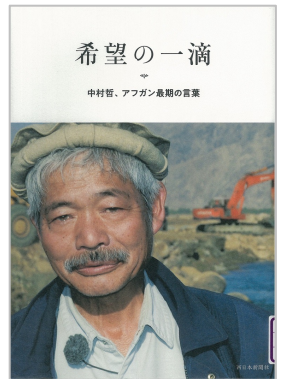
# 現場のお話



『国境なき医師団を見に行く』  
いとうせいこう(著) 講談社  
329/イ



写真絵本 国境なき医師団  
1.『国境なき医師団とは』  
2.『戦争で傷ついた人びと』  
3.『難民となった人びと』  
4.『病気や飢えとたたかう』  
5.『すべての人に医療を』  
6.『手引きと資料』  
国境なき医師団日本(監修)  
大月書店 329/コ/1~6

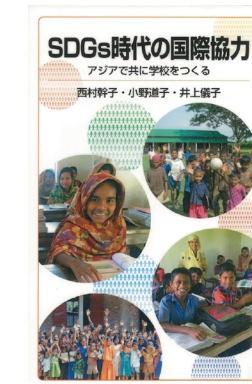


『希望の一滴』  
中村哲、アフガン最後の言葉』  
中村哲(著) 西日本新聞社  
614/ナ

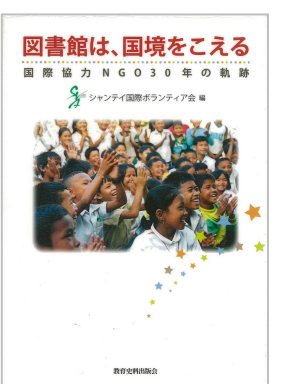
国境なき医師団 (MSF: Médecins Sans Frontières)  
フランスの医師らにより結成された国際的な緊急医療支援団体。  
ナイジェリアのビアフラ内戦を契機に、1971年設立。ノーベル賞。  
—『広辞苑』より



『平和村で働いた ドイツで出会った世界の子どもたち』  
川村幸輝ほか(著)  
あけび書房 498/カ



『SDGs時代の国際協力 アジアで共に学校をつくる』  
西村幹子ほか(著)  
岩波ジュニア新書 S372/ニ



『図書館は、国境をこえる 国際協力NGO30年の軌跡』  
シャンティ国際ボランティア会(編)  
教育史料出版会 016/シ

